

# J 城南島 タイムズ

城南島連合会  
発行元  
新聞委員会  
〒143-0002 東京都大田区城南島2-2-8  
電話 (03) 5755-9390  
URL : www.jounanjima.com  
印刷所 : 光写真印刷株式会社

2015年(平成27年)  
**11/30** <第42号>



**◎総会会長挨拶**  
城南島連合会 会長 杉崎武春

お忙しい中ご列席をいただきありがとうございます。連合会の活動をご報告いたします。昨年は防災委員会を大谷委員長と立ち上げまして、大田区から防災グッズ、いろいろな食物、飲み物をいただきました。そのほか大田区からは10万円の補助がありまして、それで誘導灯やハンドフォンなどを購入しております。これらの物資は、大田区防災課が設置している6つの防災備蓄倉庫(今年3月現在)に収められております。また、一部は組合の中にも



**第30回通常総会開催**

平成27年10月16日(金)15時30分から、大森東急REIホテル・オークルームで、第30回城南島連合会通常総会が開催された。杉崎会長の挨拶で開会し、4議案の審議が行われ、各議案はいずれも賛成多数で可決された。続いて16時20分から同室で、(株)アライズ代表取締役、青木毅氏による講演があり、終了後18時からメープルルームに場所を変えて懇親会が行われた。

ありますが、今後何か起こった時に組織として動けるようにしていこうと大谷委員長と相談しております。昨年はスタンドパイプを活用して防災訓練をいたしました。また、アルファ化米でカレーライスを作りましたが、これは非常に味が良くて好評で、アルファ化米は相応いけるなと感じました。

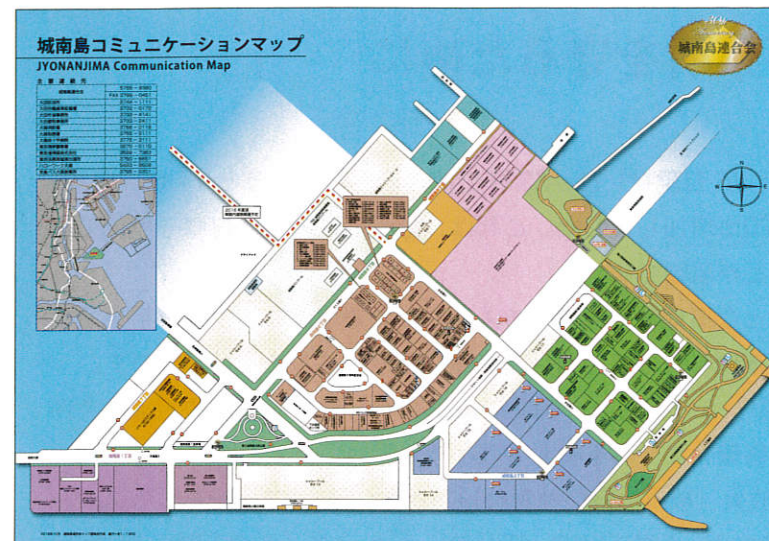
当連合会では20周年の時に地図を作りましたが、それから約10年経ちまして、企業もだいぶ変わっておりますので、新しくコミュニケーションマップを作ることにになり、11月下旬までには配布できる予定ですので楽しみにしてください。また、私はいつも城南島をより働きやすい環境にしたいと思って、これまで道路を改造したり、信号に名前をつけるとか、あるいは駐車場代を安くするために意を尽くしてまいりましたけれども、今問題なのは2カ所ほどで大渋滞が続いていることです。島内道路の整備と合わせて、これを何とか解決しなければならぬと思っています。

城南島連合会の設立30周年を記念して、コミュニケーションマップを新たに作成いたしました。平成27年の年末までには、皆様のお手元にお届けいたします。どうぞ、ご活用ください。

また、城南島連合会の会員様には日ごろ大変お世話になってることへの感謝の意をこめて30周年の記念品を準備いたしました。記念品は、電子吸着ポッド ラッケーJRK10(キングジム製)になります。

こちらコミュニケーションマップと同時にお届けいたします。

こちらのも、デスクの上でご利用ください。



※コミュニケーションマップ・記念品は、会員様企業に各1部、1台になります。

## 城南島連合会30周年を記念して

## 防災倉庫

### 防災倉庫設置完了

防災委員長 大谷 武文

2015年3月 大田区より、城南島海浜公園内中央広場近傍に防災倉庫6台を設置完了したとの連絡を受けました。

防災倉庫には、大田区より支給された物資が納められています。

食料品(クラッカー・アルファ化米)、保存水、毛布、簡易トイレ、トイレットペーパー。これらは240人が3日間過ごせる量となっています。



尚、食料品、水は賞味期限切れの前に大田区によって入れ替えて頂く約束になっています。

### お知らせ

**《会費請求・支払い時期の変更について》**  
城南島連合会では、3月～8月分を6月/9月～2月分を12月に請求しておりましたが、来期から請求時期を6月→2月、12月→8月に変更いたします。但し、今年度に限り9月～2月分を10月請求、3月～8月分を2月請求といたします。どうぞご理解の上、ご了承ください。

### 編集後記

第42号が発行できました。新しい編集方針になって2回目です。新聞委員は各企業で仕事の合間に記事を書いています。これが大変な作業で、特に新聞委員長は無事に新聞が発行されるまでずっと緊張です。お陰さまで今回も無事発行の運びとなりました。コミュニケーションマップ改定を通して島内企業の様変わりを知りました。「城南島タイムズ」を通じて島内企業の連携が深まるのが出来れば新聞委員会としてこれ以上の喜びはありません。(薦木)

※城南島タイムズ42号内で、表現の違いや時期の異なる箇所がありますが、ご了承下さい。



第30回城南島連合会  
通常総会、講演会、懇親会の報告

通常総会

総会は杉崎武春会長の挨拶に続いて、杉崎会長を議長に専任して議案審議に入った。第一号議案は平成27年度事業報告と収支決算報告書承認。中澤



総会：右から松本章（議事進行）、中澤 勇一郎（副会長）、杉崎 武春（会長）、井上 忠道（副会長）、中島 武（副会長）

勇一郎副会長から環境委員会、交通委員会、交流委員会、新聞委員会、ホームページ委員会、防災委員会その他についての報告があり、配布された決算報告書が満場一致で承認された。続いて、第2号議案は、平成28年度における事業計画案、収支予算案の件。井上忠道副会長から、概略以下の報告を行った各委員会の事業計画の説明と30周年記念コミュニケーションマップ制作についての説明があり、収支予算案が満場一致で承認された。この後、第3号議案「会費納入規定の件」、第4号議案「役員変更の件」の承認が行われて、杉崎会長の「閉会の辞」をもって通常総会は滞りなく終了した。

役員変更

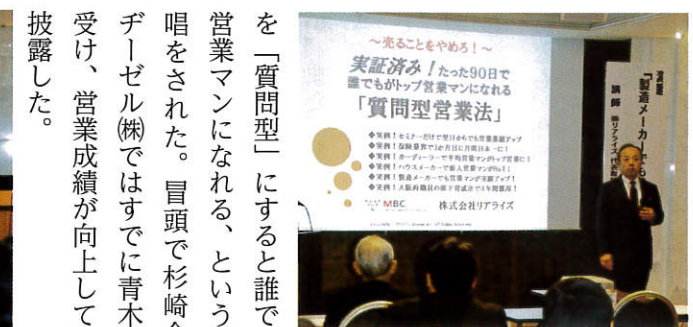
	変更前	変更後
理事	北島清治	高須俊行
理事	小谷則昭	中山敦志
理事	田波猛志	佐々木修次
監事	南隆志	日向 淳

講演会

引き続き、総会会場で講演会が行われた。講師は(株)リアライズ代表取締役の青木毅氏。演題は「製造メーカーでも成果があがる質問型営業法」。リアライズは京都に本拠を置く、社員教育、経営コンサルティング会社で、代表の青木氏は「質問型」の営業開発、コミュニケーション、セルフマネージメントの開発者。大手カーディーラー、ハウスメーカー、保険会社指導を行い、4カ月で成果を上げる指導で高い評価を受け、「説得・説明なしでも売れる！「質問型営業」のしかけ」（同文館出版）など多くの



(株)リアライズ代表取締役 青木 毅



著書でも知られている。営業トークはとかく「説明型」になり勝ちだが、これを「質問型」にすると誰でもがトップ営業マンになれる、という刺激的な提唱をされた。冒頭で杉崎会長は高輪デーゼル(株)ですでに青木氏の指導を受け、営業成績が向上していることを披露した。

大森消防署

火災から事業所を守るために

大森消防署管内の火災件数（平成27年10月26日現在）は、57件で前年同期と比べると11件が減少、焼損床面積は、570㎡で前年同期に比べると470㎡増加しました。これは、臨海地区の無人倉庫や解体工事前の大規模作業所から出火し、通報が遅れたことが原因です。

夜間無人となる建物や工業団地など夜間無人となる地域で通報する人がいない環境となるような事業所では、119番通報を自動に行う自動通報により、夜間における通報、連絡体制を確保することが必要です。

自動通報には、「無人直接通報」や「即時通報」などがあり、消防署の承認が必要となります。承認条件をクリアできない場合は、民間警備会社による警備システムを検討するようお願いいたします。

また、大森消防署の主な火災原因をみると「放火（放火の疑いを含む）」10件、「たばこ」9件、「ガステーブル等」5件、順位は東京消防庁全体と同様ですが、「電気配線・器具等」も5件で「電気配線・器具等」に起因した火災が第3位となっています。火災から事業所を守るためには、火災となる危険箇所を点検し、危険箇所の排除に努めてください。

出火原因別予防対策(ポイント)

放 火

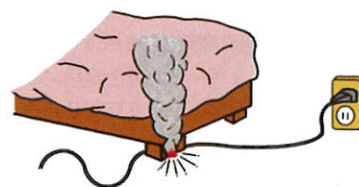
- ・事業所の周りを整理整頓し、燃えやすい物は放置しない。
- ・倉庫、車庫、物置などに鍵をかける。

た ば こ

- ・吸い殻は、水に浸すなど完全に消えていることを確認してから捨てましょう。
- ・灰皿に吸い殻を溜めずに、定期的に捨てるようにしましょう。

電気コード等

- ・コンセントにほこりがたまらないように、特に隠れているところに注意し定期的に掃除しましょう。
- ・差し込みプラグを抜くときは、コードではなくプラグ本体を持って抜きましょう。
- ・コードの折れ曲がり、家具等の下敷きに注意する。束ねての使用はしないようにしましょう。
- ・テーブルタップは、決められた容量内で使用しましょう。



問合せ先  
大森消防署 予防課 防火管理係  
担当者 田中・川中子  
電 話 03-3766-0119

# 城南島の企業

## 第2回 ART FACTORY 城南島

新連載・城南島の企業第2回は今年10月16日にグランドオープンした、ART FACTORY 城南島です。

お話しは運営会社、(株)東横イン元麻布ギャラリーの代表取締役、関 里子さんに伺いました。  
(インタビュアー：中澤 勇一郎)



ART FACTORY 城南島 東京都大田区城南島 2-4-10

### ～都内最大規模のアート施設～ アーティストに制作・発信・交流の場を提供

この建物は元々、電気基礎を作る会社の工場でしたが所有者が(株)東横インになってからは備品倉庫として使用してありました。しかし、この立地条件とキャパシティを、もっと社会に貢献できる活用法はないものか、というのが「ART FACTORY 城南島」誕生の原点でした。イメージとしては、工場跡



を展示場に改造して、たくさんアーティストが作品を生み出したニューヨークのソーホーが思い浮かび参考になりました。この施設は、東横インがかねてより推進している社会貢献活動の一環、メセナ事業として、「アーティストの活動を支援し芸術文化の振興」を主な目的としております。  
城南島は町工場の優れた技術が集積している場でもありますから、アーティストたちの制作・発信・交流の拠点がここにできれば、大田区の技術とアーティストの創造性が融合

し、新しい付加価値の高い商品を開発することにもつながります。そして両者の交流が進めば、青少年教育、地域の活性化、国際交流などの課題を解決することにもなるでしょう。また、羽田にも近いので、大田区の新たな観光スポットとして、海外から多くの方に来ていただくことも期待できます。  
建物は敷地面積約2千8百平方メートル、総床面積約3千5百平方メートルの地上4階建。1階は受付、展示スペースがあり、その奥の書庫には貴重な美術関係の本が収蔵されています。2階はワークショップや講演会などに使用できる多目的スペースですが、普段も解放されていて、昼の時間には近隣で働いている方々がお弁当を持ち込み食べにきたり、トラックの運転手さんも休憩に使ったりとフレキシブルな使い方が出来るスペースです。3階は企画展示室として、絵画や映像作品などを中心に実験的な展示を行っており



ます。また4階ではクリエイターが作品制作をしているスタジオや大規模展示スペースが完備されております。オープンになっておりますのでいつでも制作現場を見学して頂けます。そして、屋上の一角は芝生が敷かれウッドデッキが置かれた、眺望も絶好の屋上庭園となっております。人気のスペースです。すべての階が開館時間は自由に入力できます。敷地内には駐車場も完備しております。城南島連合会の皆さまもぜひお気軽にお立ち寄り下さい。皆さまのお越しをお待ちしております。



(株)東横イン元麻布ギャラリーの代表取締役、関 里子さん

### 懇親会

講演会終了後、会場をメーブルームに移して懇親会が行われた。杉崎会長の挨拶に続き、来賓各位の紹介があり、来賓者を代表して、東京都議会議員・鈴木あきまさ氏、大田区産業経済部長・鴨志田 隆氏、大田工業連合会会長・舟久保利明氏が挨拶され、商工組合中央金庫大森支店京浜島出張所所長・谷中正英氏の音頭で乾杯が行われ、和やかな雰囲気の中で参加者が親睦を深めた。



城南島連合会会長 杉崎 武春



商工組合中央金庫大森支店京浜島出張所所長 谷中 正英

中国経済の減速によって、世界中が大きな影響を受けています。日本では観光業で中国人の来日キャンセルが増えていますね。中国人観光客の増大に対応して、観光バスが増産されてきて、現在もかなりの注文残をかなり抱えているようですが、今後どうなるのか大いに心配です。中国に進出している中小企業も、ここに来て倒産が増え



東京都議会議員 鈴木 あきまさ

ています。2014年1月～9月は32件でしたが、2015年1月～9月は1.5倍の58件。今後の中国経済の悪化によって、この倒産件数はさらに増えてくるのではないかと考えられます。  
ドイツのフォルクスワーゲン社は例の事件によって、ディーゼルの生産から撤退して電気自動車に軸足を移すといっています。また、トヨタは2050年にはエンジンを載せた車の販売を中止するそうです。ということは、燃料電池車、ハイブリッド車だけではなく、日本にとって石油の低価格化は有利だけでも、産油国が経済的に破綻するようなことになれば、世界的に非常に難しい局面になるわけで、いろいろな不安の種は尽きません。それはともかく、羽田アクセス新線に駅ができることに期待したい、東京都にも大田区にも要望しております。



大田区産業経済部長 鴨志田 隆

「下町ロケット」の放映が始まりますが、これを機会にますます大田区のモノづくりの光が当たってほしいと思っています。昨年度、皆さんにモノづくり産業実態調査にご協力をいただきました。大田区ではその結果を踏まえて、今年度から一部政策を実行してまいります。来年度予算ではこれをもっと活かしていきたいと思っています。大田区の企業の集積を守るのが私たち大田区産業経済部の使命だと思っています。企業の留置、新しい企業の誘致などさまざまな課題に取り組んで行きた

下町ロボスレーに続いて、テレビド라마「下町ロケット」が話題になっておりまして、大田区はいま大変脚光を浴びています。東京オリンピック、パラリンピックを控えています。東京都はこれを機会に東京の技術力を示す、モノづくりオリンピックにしたいと考えています。その技術の下支えをしている大田区の技術力は今後ますます重要になってきます。この城南地域から日本の元氣を作っていくには、皆さんと力を合わせて頑張りたいと思っています。



大田工業連合会会長 舟久保 利明

国際化はグローバル化と違っていて、自分の国が外国からどう評価されているかを知り、どういうふう外国に売り込んでいくかということ。モノづくりの国際化で言えば、私たちの誇りでもあります。ではそのごさって何でしょうか。それは高度な技術の集積、いわゆるモノづくりのネットワーク化と言われます。じゃあ、そのネットワーク化は一体どうなっているか。それを知るためには、個々の会社がどんな技術を持っているかをしっかりと把握する必要があります。しかし、今はどこに問い合わせも、各企業の細かい技術の特徴まではなかなかわかりません。そういうことをきちんとして書いてデータベースが必要ではないか。そのためにはどうしたらいいのか、ということは大田工業連合会としても課題としてやっていきたいと思っています。それが外国との取引でも生きてくると思います。

### トライアスロン

## 第5回東京・江戸前トライアスロンが開催 (主催：一般社団法人 東京都トライアスロン連合)

2015年9月27日(日)に城南島海浜公園および周辺道路にて、第5回東京・江戸前トライアスロンが開催(主催：一般社団法人 東京都トライアスロン連合)されました。大会開始までは小雨が降っていましたが、スタート時には天候も回復して、今までに無いベストコンディションで、選手たちの熱い闘いが繰り広げられました。競技はスー



スターターを務めた当連合会の中澤副会長

パースプリント、一般個人の部、高校生の部とエキデンの3部門で行われました。

参加者はエントリー245名、完走216名、エキデンは21チーム(3名1チーム)のエントリーで17チームが完走、3チームがスキップの記録となりました。

参加選手の年代層も10代から70代と幅広く、都内唯一の東京湾内でのエイジグループのトライアスロン大会であります。

### ゴルフコンペ

## 2014年秋季・2015年春季 懇親コンペ報告

2014年11月19日に紫カントリークラブすみれコース(千葉県野田市)にて総勢18名の参加で秋季ゴルフコンペを開催いたしました。

優勝者は株式会社豊田商店の中山敦志取締役でした。

また、2015年4月23日にザ・カントリークラブジャパン(千葉県木更津市)において16名の参加で春季ゴルフコンペを開催いたしました。



秋季ゴルフコンペ(平成26年11月19日)

優勝者は株式会社奈良機械製作所の大谷武文参事でした。

城南島連合会では、毎年、春と秋に懇親を深めるため、スポーツ推進を目的としてゴルフコンペを開催しております。是非、皆様お誘いあわせの上、ふるってご参加していただけることをお待ちしております。詳しくは城南島連合会事務局へお問い合わせください。



春季ゴルフコンペ(平成27年4月23日)

### ビーチクリーンアップ&バーベキュー

## 『ビーチクリーンアップ in 城南島2015』が開催



去る2015年10月10日(土)に城南島海浜公園つばさ浜において、今年で14回目を迎える『ビーチクリーンアップ in 城南島2015』が開催されました。

このイベントは「きれいな砂浜をこどもたちに」をテーマに砂浜清掃するボランティアイベントです。当日は、あいにくの曇り空で少し肌寒い日でしたが一般のボランティアの人た



ちや城南島の企業の方々がたくさんのごみを拾い、砂浜をきれいにしました。城南島連合会登録の参加者は163名を数え、ご協力、本当にありがとうございます。連合会登録の方々には、今年も城南島連合会のオレンジ色のロゴ入りのピブスを着用していただき、海浜公園がオレンジ色に染まる光景には感極まりました。本当に感謝しております。

ビーチクリーンアップ後には、連合会恒例行事のバーベキュー大会を実施いたしました。参加者は151名で、大変美味しいバーベキューと生ビール、ジュース・フルーツなど盛りだくさんの慰労食事をを行い、親睦・懇親を深める楽しいひと時をすごしました。

